コミスクだよりNo.1

霧多布地区 CS でめざす子どもの姿
ふるさとを愛し、たくましく生きる子ども

令和7年6月16日(月)発行

霧多布地区学校運営協議会（コミスク）について

コミスクとは？
学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

霧多布地区の学校運営協議会（コミスク）は、平成 30 年に霧多布小学校が浜中町のコミュニティ・スクールモデル校としてはじまりました。その後、霧多布小学校と霧多布中学校を母体として霧多布地区学校運営協議会（以下コミスク又はＣＳ）が発足しました。霧多布地区 CS は今年で７年目を迎えます。今後とも活動へのご理解とご協力よろしくお願いいたします。

１．令和７年度学校運営協議会委員紹介（敬称略）

役 職	委　　員	区 分	備　考
会　長	工藤　吉治	地域住民	共和町内会長
副会長	春日　良太	地域住民	霧多布地区
副会長	白川　貴之	地域住民	霧多布地区
委　員	大野　裕幸	地域住民	霧多布地区
	本間　高揚	地域住民	霧多布地区
	箱石　憲博	地域住民	暮帰別町内会長
	赤沼　正彦	保 護 者	霧中 PTA 会長
	三浦　孝章	保 護 者	霧小 PTA 会長
	杉山　浩彰	学　　校	霧中校長
	葛西　敏之	学　　校	霧小校長

２．第１回学校運営協議会の開催

５月２９日（木）、今年度の第１回目の学校運営協議会が開催され、佐藤教育長から今年度の学校運営協議会の委員の方々に委嘱状が手渡されました。会議の中では、令和６年度の活動と会計決算報告、令和７年度の役員選出、活動計画と小学校、中学校のそれぞれから令和７年度の学校経営方針といじめ防止基本方針の説明があり、審議を経て承認されました。

３．今年度の活動について

〇地域と小・中学校とが連携して行う活動
- 子どもの盆踊り指導　　（夏休み前：日時は未定）
- ラジオ体操会の実施　　（夏休み開始から１週間）

〇霧多布小学校
- 日常の学習活動への学習支援ボランティアによる支援
- 「図書ボランティア」による読み聞かせ活動
- 「ひまわりの絆プロジェクト」（６月５日）小１、２年生
- 保育園と小学校の連携
- 花入いっぱいロードの管理（町企画財政課との連携）
- ごみ拾い活動

〇霧多布中学校
- 地域と連携した事業・学習活動（総合的な学習の時間）
  企業、関係機関の協力による職場体験活動（９月２５日、２６日）

〇小・中合同で取り組む授業研究
- 霧多布小学校・霧多布中学校の教員が同じ研究主題を設定し、一緒に授業改善について学び合う合同研修の取り組みが３年目を迎えます。

〇スイッチ OFF７days の取組
- 霧多布小・中学校で子どもの就寝２時間前にメディアのスイッチをオフにする取組です。今年度は霧多布地区全戸にチラシを配布しました。

R7霧多布中学校学校　グランドデザイン

子ども達が今と未来の幸せをつかむことができる資質・能力を育むため、夢や目標をもち、想像力を働かせ、チームワークを発揮して、粘り強く様々な問題を解決する「学びのサイクル」を大切にし、プラスのマインドセット（前向きな心構え）を合言葉に全教職員で子どもたちを育てていきます。

R7霧多布小学校　グランドデザイン

本校の教育活動を通して、自分がやりたいことを自分で見つけ（自発性）、主体的に行動（目標・責任・依存）し、他の人の役に立ち、喜ばれ、互いに安心感を高める。子どもたちを温かく見守り、自分らしく安心して生活することができる環境づくり。子どもの学ぶ意欲と学ぶ力を信じ、自己決定の場を多く創出する教育活動を通して、多様な子供一人一人を自立した学習者として育む学校を、私たちは実現します。

学校のホームページもご覧ください

今年度も積極的に地域と連携して学校行事を実施していきたいと考えております。各校のホームページでは、学校での児童・生徒の活動の様子を紹介しています。ぜひご覧ください。

霧多布小学校

霧多布中学校